



東京医科歯科大学 がん患者さんとご家族のための おしゃべりサロン

サロン便り No. 46
(2016年 9月発行)

2016年8月24日に開催した第46回“おしゃべりサロン”の参加者は、体験者12名(男性5名、女性7名)、ご家族2名(女性2名)、相談支援センターから看護師1名、合計15名でした。検査結果を待つときの緊張、ドキドキして待つストレスや再発の不安、心の辛さ等々を本音で話し合い充実した時間を過ごしました。先輩患者のお話により少し先が見えて、生きるとはどういうことなのか整理ができた方もいらしたようです。

いつものようにサロンのお約束(①自分の事は自分の言葉で話す、②お話は評価することなく聴く、③ここでの話はここ限りに)から始まり自己紹介、休憩を挟んで2グループに分かれて分かち合いをし、最後に参加した感想を伺いました。

○ひとり住まい。再発ばかり考えている。同じ体験者の話が聞きたい。

○3年前は、人間としての尊厳を保って生きていけるのかと思っていたが、この1年寛解状態になり仕事、趣味を楽しんでいる。

○精神的に落ち込んで手術前より食欲がない。みなさんは術後どういう気持ちだったのか、どう乗り越えてきたのかお聞きしたい。

○検査結果を聞くとときは判決を待つ気持ち。結果がよいと「おいしいものでも食べて帰ろう」という気になる。これの繰り返し。

○「効果がないから今治療している抗がん剤を止めましょう」といわれた時は、命の期限を切られたと思った。

○再発を心配しているととても疲れるので考えることを止めた。次の検査まで医師が保証してくれたと思って過ごしている。

○再発の不安に対する向き合い方を学んだ。

○悩んでも一日、楽しく過ごしても一日、どうせなら楽しく過ごしたいという言葉が心に残った。

○1日1日もつたいないので、色々なことに挑戦して前向きに生きていた方がよいと思う。

○サロン参加は4回目。初めは泣いてばかりだった。やりたいことをイメージして、今日頂いた元気を糧に又生きていきたい。

○皆さんの話を聞き、自分も話しをしながら、生きるとはどういうことなのか整理ができた。

○再発の怖さを忘れるだけのパワーを頂いた。

皆様も、仲間の話を聴いて、そして自分も話してみませんか。スタッフ一同、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

今後の日程

■日時・場所

毎月第4水曜日 13:30 ~ 15:30

東京医科歯科大学 医学部附属病院

2016年 9月28日(水) } B棟16階小会議室

10月26日(水) }

11月は祝日でお休み

(詳細は当日、開催階のエレベータホールに掲示)

■対象：主にがん患者さん・ご家族

どちらの医療機関に掛かっていても参加出来ます(無料・予約不要)

■問い合わせ：東京医科歯科大学医学部附属病院 がん相談支援センター(腫瘍センター内)

電話：03-5803-4008(直通)

主催：特定非営利活動法人がん患者団体支援機構

〒154-0002 東京都世田谷区下馬5-28-7

E-mail: info@canps.jp

URL: http://www.canps.jp

& 東京医科歯科大学医学部附属病院 腫瘍センター

「のぞみ基金 がん患者団体支援助成金」事業